

平成28年度 市立大森病院 方針書

市立大森病院 事務局長 金澤和彦

1. 市立大森病院の使命（役割）

- 保健・医療・福祉・介護が一体となった「地域包括医療・ケア」を推進し、地域住民の健康増進、保健衛生並びに高齢者福祉に関する医療サービスを提供していく。
- 安全で安心な医療の提供と健全で安定した経営の確保と共に、地域に信頼され、魅力ある病院づくりを推進する。

2. 平成28年度における課題（前年度の振り返りから）

- 経営健全化への取り組み（収益確保と経費削減）
- 医師、看護師等の人材確保とその負担軽減と質の向上
- 病院機能評価（再受審）の検証
- 感染対策の更なる徹底と強化（院内感染ブレイク防止）

3. 平成28年度の『スローガン』

「多様性への対応と効率性の追求！！」

4. 年度目標となる方針（目標）

- 地域で信頼される病院づくりと安全で安心な医療の提供
- 地域包括ケアの拠点として地域の医療や介護を支えるハブ機能を有する病院
- 経営健全化への早急な取り組み→具体的なAction
- `新公立病院改革プラン`の策定
- 第56回全国国保地域医療学会開催（H28.10/7～10/8）への対応

5. 重点取組項目

(1)	項目	健全経営に向けた取組み
	取組内容	○病院機能評価再受審(3rdG:Ver1.0)結果を受けての検証 ○具体的なコスト削減と原価計算の実践(不採算部門見直し等)→外部コンサル(一部)導入 ○組織強化への取り組み(人材開発の強化・育成(認定看護師・特定看護師・医療経営士等)、人材(財)評価システムの構築) ○BCP(事業継続計画)の見直し
(2)	項目	地域密着型病院としての取組み
	取組内容	○地域包括医療・ケアの更なる充実 ○地域住民との協働(ナイトスクール、地域貢献活動の実施) ○地域と患者さん、そして、職員にとっても魅力のある病院づくり ○在宅看取り、グレースケア・レスパイトケアの更なる推進
(3)	項目	「地域医療構想」を踏まえた`新公立病院改革プラン`の策定
	取組内容	①地域医療構想を踏まえた役割の明確化:地域医療構想調整会議への働きかけ ②経営の効率化:経営指標にかかる具体的数値目標の設定 ③病床機能見直しに係る患者さん(理解)への取組み

6. 方針に対する年度上期（4月～9月）の取組みの状況 【現状】

- ・地域住民との協働の取組みとして、7/15ナイトスクールの実施（年3回予定）、6/16・8/18糖尿病教室の開催（年5回予定）、大森地域クリーンナップの実施（健康の丘⇄大森総合学習センター）
- ・院内保育所「森のこハウス」利用者は9月末現在8名。
- ・特定看護師の育成（H28.9末自治医科大研修終了）
- ・経営改善検討委員会による経営分析の実施（月1回）
- ・遅番制度導入による時間外の削減、医療機器保守内容見直しにより委託料削減
- ・第56回全国国保地域医療学会への参加（スタッフ6名・参加者8名）

7. 年度下期（10月～3月）に向けた課題と取組みの方針【ギャップと対策】

- ・感染症流行期になるため、感染症予防策の強化（マスク・手洗い・うがい等）
- ・新公立改革プラン策に向けた関係各所との連携強化
- ・H29当初予算編成に向けた戦略策定

8. 総括 取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】

- ・健全経営に向けた取組みとして経営改善検討委員会を設置し各部門の課題や収入確保、経費削減に向けて検討を行った。経常的経費として大きなウエイトを占める医療機器の保守内容の見直し、年々増加傾向にある時間外勤務手当の削減（遅番制度の導入）、施設基準の見直しなどを行い新年度予算編成に反映。
- ・地域密着型病院としてナイトスクールや地域包括ケア懇談会・勉強会、大森病院祭や健康の丘清掃活動など地域に根差した取組みを実施。
- ・秋田県が策定した地域医療構想を踏まえ新公立改革プランを策定し、市立横手病院と連携を図りながら経営の効率化、健全化へ向けて取り組むことを確認。

人口減少に伴う患者数の減少により経営環境は厳しさを増しているが、地域の皆様に安心安全な医療を提供することは当院の使命である。経営の健全化＝黒字化ではなく、地域の皆様に納得していただける医療の提供をすることが課題解決の一步と捉え、職員の意識改革に取り組む。